

生徒・保護者の皆様へ

青森高校は 2022(令和4)年度から、**2学期制** に移行します

令和4年度入学生から、学習指導要領改訂にもとづく新しい教育課程がスタートします。それに伴い、全学年において学びの質をさらに高めて確かな学力を育成するために、従来の3学期制から、前期・後期の2学期制に移行します。

Point

なぜ2学期制？

- ①「評価」を充実させ、主体的に学ぶ力を伸ばすため
- ②探究型学習を充実させ、学ぶ意欲を向上させるため
- ③行事・部活動等を充実させ、学習との両立を支援するため

解説

①「評価」の充実

学期のスパンを長く取ることで、考査だけでなく、日々の取組や單元ごとの学習状況をきめ細かく評価し、多様な観点から「伸び」をサポートできるようになります。また長期休業中に不得意部分を主体的に補い学期末(評定)に臨めるようになります。

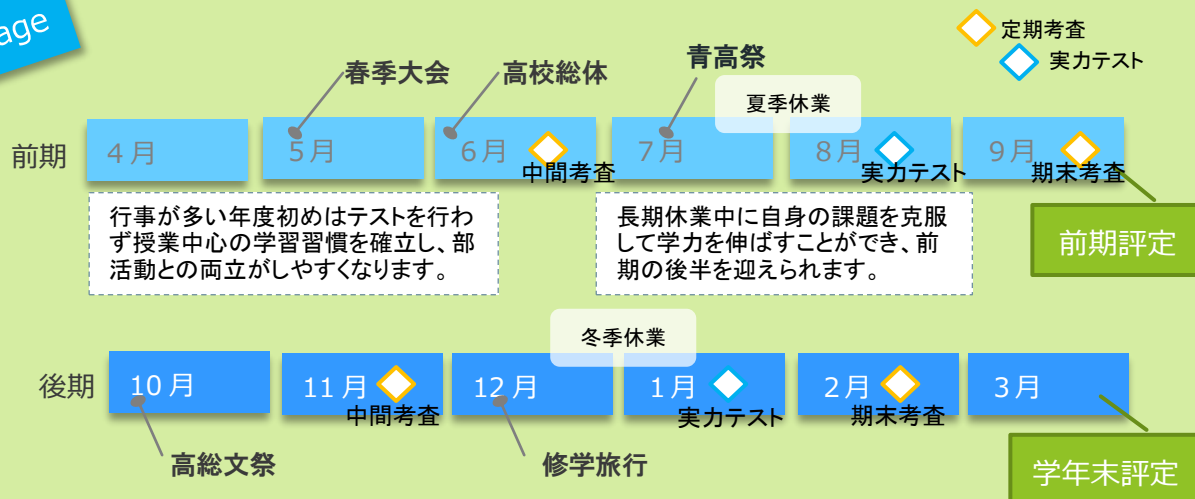
②探究型学習の充実

考査の回数を5→4、実力テストを3→2として、ゆとりをうみ、学んだ知識を深めたり、他教科間の知識や考え方をつなげ広げたりする探究型・教科横断型の学習を充実させ、本質的な学ぶ力と、主体的に学ぶ意欲を養います。

③行事・部活動等の充実

考査と考査の間隔が広がったことで、高校総体や文化祭等の行事にじっくりと打ち込むことができ、学業との両立がしやすくメリハリのついた学校生活が送れるようになります。進路につながる課外活動に参加するゆとりがうまれます。

Image



※3学年の定期考査については、大学入試等の都合上、別日程となります。

Q&A ー2学期制,ここが知りたい

令和4年度から2学期制に移行するにあたり,現1・2年生の生徒・保護者のみなさまにとっては,これまでの一年間のスケジュールが変わることになります。そのため,いくつかの疑問や不安があるかと思しますので,Q&A形式にまとめてみました。

Q1



2学期制になってテストの回数が減るようですが,学力の保障は大丈夫なんでしょうか？

A

考査の間隔が広がるぶん,各単元でその都度知識や思考力の定着を確認し,自身の到達度を知る余裕があります。それを踏まえて学習に取り組み,テストに臨むことができるので,より学力の定着が図られると考えています。

Q2



現1・2年生にとっては,2学期制になると,評定を挽回する機会が今までより減ってしまうので,不利になりませんか？

A

テストの点数だけで評価し,5段階評定を出すわけではありません。日々の小テストや単元テスト,レポートなども加味して評価するので,テストのみを重視するのではないのです。ですから日々の学習のプロセスでの積み上げをしっかりと行うことが重要です。なお,通知表は9月と3月の2回です。

Q3



2学期制の他校の導入状況はどうですか？大学進学対応で不利になりませんか？

A

2学期制は県内外で導入実績があり,進学を重視する多くの高校でも導入されています。現在の入試制度における「総合型選抜」等で,時期の早い大学では,9月下旬が願書受付となります。この点を考慮し,3年生については,前期の考査の時期を柔軟に設定するなど,不利にならないよう配慮します。

- 補足 単位の半期認定や留学・大学との連携といった,外部との接続のスムーズさという観点からも「2期制」の効果は高く,本校の学びに適しています。



めざす生徒像 「主体性と協調性をもって果敢に未来を切り拓く生徒」

青森県立青森高等学校
030-0945 青森市桜川8丁目1の2

☎017-742-2411(代表)
www.aomori-h.asn.ed.jp